

1. 若者が活躍するまちづくり

(1) 仙台若者アワード【概要】

- 若者団体の社会貢献活動を表彰するとともに、若者と多様な主体との連携による取り組みを促すなど、若者の社会参加を促進
- コカ・コーラボトラーズジャパン(株)、一般社団法人ワカツク、本市による実行委員会を組織し、平成29年度から実施
- 「表彰部門」
 - ・・・社会貢献活動を行っている若者団体を公募し、公開プレゼン形式で審査・表彰
- 「協働部門」
 - ・・・企業の参画を得て、当該企業との協働でSDGs達成の取り組みを行う若者団体を募集しマッチング令和2年度から新たに実施



1. 若者が活躍するまちづくり

(1) 仙台若者アワード【実績】

【令和2年度(第4回)】

■表彰部門(応募数14団体)

最優秀賞: 宮城学院女子大学さくらレオクラブ

入院中の子どもたちに、クラウドファンディングを活用してタブレット端末を贈呈し、コロナ禍で会えない家族や友人とのコミュニケーションや学習面を支援



※令和2年度プレゼン審査はオンライン形式

■協働部門

テーマ① 『学都仙台ならではの資源循環型社会モデルを構築する』

(株)SKホールディングス(SKグループ)、環境系学生団体海辺のたからもの、東北工業大学環境サークルたんぽぽ

テーマ② 『仙台の学生と一緒に考える「未来の働き方」』

(株)関・空間設計、建築学生団体RED(レッド)

※協働部門から生まれた取り組み

古紙リサイクルポイントシステムを活用して集まった古紙の売上の一部を子ども食堂へ寄付

【令和3年度(第5回)】

11月26日 プレゼン審査(オンライン形式)予定

1. 若者が活躍するまちづくり

(2) 仙台まちづくり若者ラボ【概要】

- ・ 若者が実践型プログラムに参加し、「自分ごと」としてのまちへの関わり方を探求
- ・ 若者のアイデアを地域課題の解決や地域活性化に活用
- ・ 「主体的に動く若者」や将来の協働パートナーの発掘・育成
- ・ 令和2年度から実施

【実施内容】

- ・ 市内に居住または通勤・通学する18歳から概ね30歳の方を公募、ワークショップ・フィールドワーク・最終報告会を開催
- ・ 同世代の社会人がメンター（相談・助言者）としてサポート
- ・ フィールドワークでは、参加者は「まちの特派員」として様々な人や取り組みを取材・発見

仙台
まちづくり
若者ラボ



1. 若者が活躍するまちづくり

(2) 仙台まちづくり若者ラボ【実績】

【令和2年度】

- 参加者29名が6つのグループに分かれて活動
- グループで取材・探求したアイデアやアクションを報告会で発表
- 報告会后に本市の部署と意見交換を行ったグループも



【発表事例の一部】

■「作並特派員」として地域のプレーヤーへ

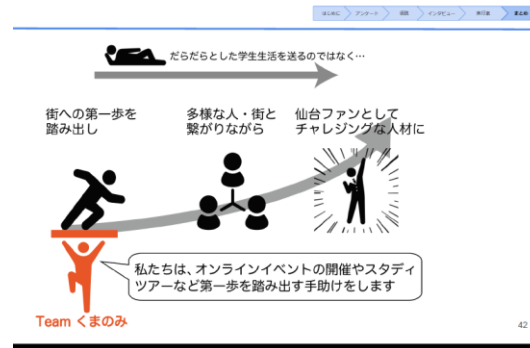


■街歩きアプリ開発・運用、歩いてまちの「愛着」を醸成

#あなたと街をむすび丸プロジェクト



■新入生対象のイベント・交流、卒業後も選ばれる仙台へ



1. 若者が活躍するまちづくり

(2) 仙台まちづくり若者ラボ【実績】

【令和3年度】

- 参加者33名（令和3年10月現在）が6つのグループに分かれて活動
- スケジュール

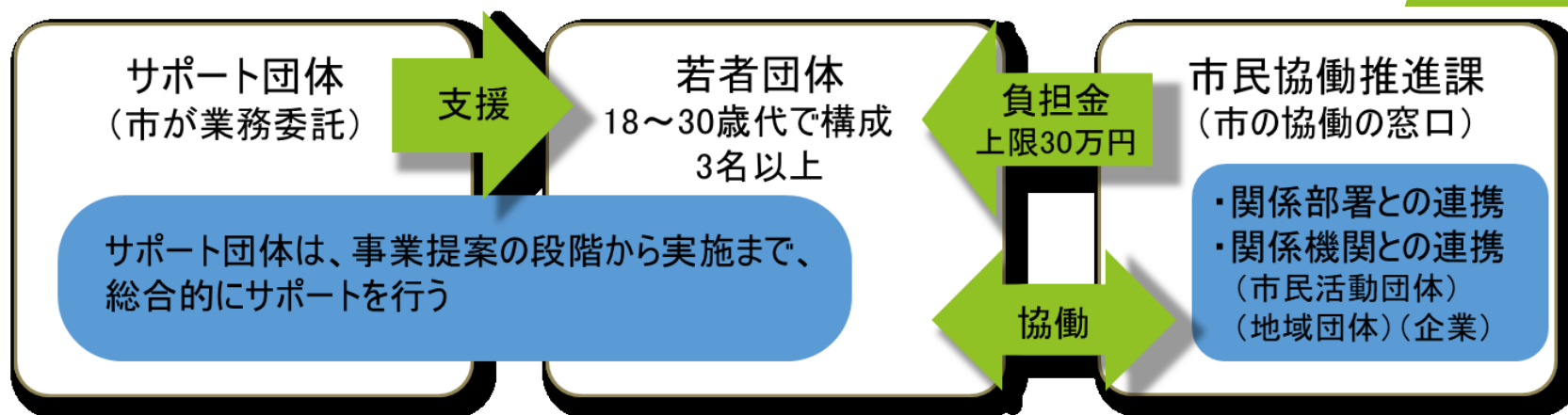
月 日	項 目	内容等
7月6日	ワークショップ①	・市長挨拶 ・地域の魅力発見や取材についてレクチャー
8月24日	ワークショップ②	・チームごとに取材先やテーマについて話し合い ※オンライン開催
10月6日	ワークショップ③	・テーマ決定に向けて掘り下げ
11月2日	ワークショップ④	・中間報告 ・テーマの確定
12月1日	最終報告会	・チームごと発表

1. 若者が活躍するまちづくり

(3) 若者版・市民協働事業提案制度【概要】

- NPOや企業等が持つ専門性を生かして、地域課題等に市と協働で取り組む「市民協働事業提案制度」の若者版の制度として、令和3年度から開始
- 若者にとって身近なまちづくりについての事業提案を募集し、市と協働で取り組むことにより、若者のアイデアを市の施策に取り入れ若者の発想を生かしたまちづくりを推進

【実施体制のイメージ】



1. 若者が活躍するまちづくり

(3) 若者版・市民協働事業提案制度【実績】

【令和3年度】

ミズベフェスタ（団体名：カワラカイ）

広瀬川の空間資源を生かしたプログラムの実施を通じて快適に遊べる水辺環境を作り、広瀬川に親しむ市民を増やすことを目的として、以下の内容に取り組む。

- ・ 広瀬川の空間資源を生かしたプログラムの実施
- ・ プログラム参加者等へのアンケート及びヒアリング
- ・ 今後の広瀬川への提案の発信



立町エリアにおけるコミュニティスペースの提供（団体名：たちまち茶々）

立町地区におけるコミュニティの活性化を目的として、以下の内容に取り組む

- ・ 交流イベントの実施、交流コミュニティスペースの設置・運営
- ・ アンケート、コミュニティスペース事例の調査
- ・ 実施後の報告会



2. 地域課題解決プロボノ活用事業

(1) 概要

- 個人や企業による地域活動や社会貢献活動への参画の後押し
- 市民のノウハウやスキルを地域団体・市民活動団体の支援につなげる仕組みの構築
- 地域課題解決に向けた、多様な主体による協働の推進

【実施内容】

※モデル事業として、2つのプロジェクトを実施

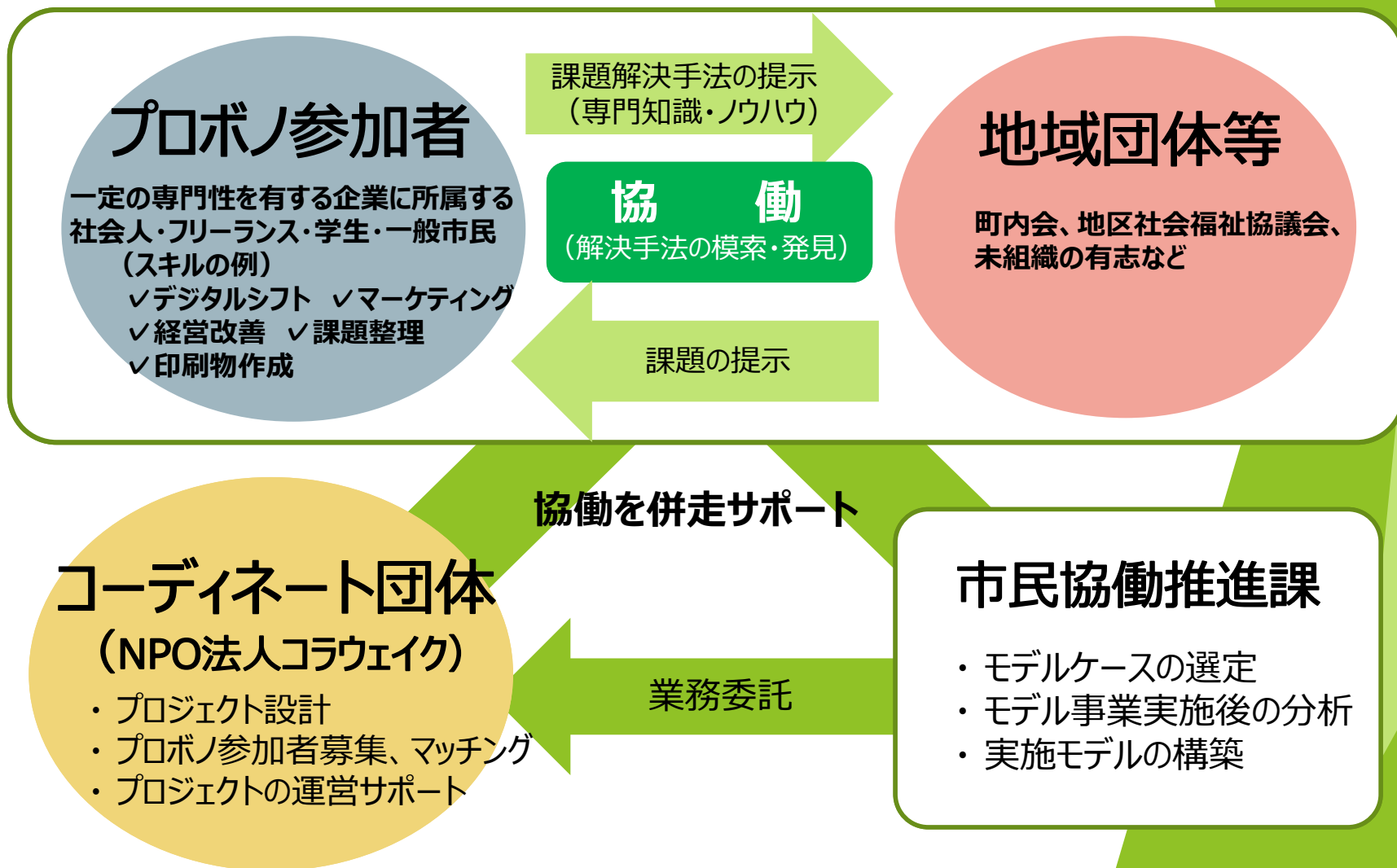
- 実施期間
8月下旬～1月(約5か月)
- 実施形態
対面・オンライン
- 活動頻度
ミーティング 月2, 3回程度
(1回あたり1.5～2時間程度)



2. 地域課題解決プロボノ活用事業

(1) 概要

【実施体制のイメージ】



2. 地域課題解決プロボノ活用事業

(2) 活用事例①

プロジェクト名	誰もが住みやすい、安心安全のまちづくりプロジェクト！ ～コミュニティ活性化のプランをつくり、集客力を上げよう～
受入団体	南小泉南地区社会福祉協議会・第5ブロック（遠見塚）
主な課題	●コロナ禍で停滞したサロン活動の活性化 ●新たな参加者・子育て層の巻き込み、広報PR強化
プロジェクト内容	【テーマ】 安心安全なまちづくりに向けた持続可能なしくみ・人づくり ●サロン活動や運営体制など、運営全般を見直し、再計画⇒実行へ ●新たな参加者・子育て世代等も巻き込めるよう、広報PRを強化 等
参加プロボノ	5名 { 性別：男4名・女1名 年齢：20代・2名、30代・1名、40代・2名 住所：仙台市内・3名、宮城県内・1名、東京都・1名

2. 地域課題解決プロボノ活用事業

(2) 活用事例②

プロジェクト名	高齢化もなんのその。笑顔あふれるまちづくりプロジェクト！ ～多世代のニーズを知り、持続可能な実行プランを考えよう～
受入団体	住吉台地区社会福祉協議会
主な課題	● 更なる高齢化に備えた地域住民の不安・ニーズの明確化 ● 地域力の強化のための実行プランニング
プロジェクト内容	【テーマ】 今後の超高齢社会に備えた、笑顔あふれるまちづくり ● アンケート設計・調査（生活、将来の不安・ニーズ）⇒ 分析 ⇒ 発信 ● ニーズを叶え、笑顔あふれるまちづくりに向けた、実行プランの企画 等
参加プロボノ	6名 { 性別：男5名・女1名 年齢：20代・2名、30代・1名、40代・2名、60代・1名 住所：仙台市内・2名、東京都・1名、大阪府・3名